

新型インフルエンザに関する対応について

1 発生の経過

メキシコでは3月以降、米国では4月以降、新型インフルエンザA（H1N1）の感染者が発生しており、その後、感染はカナダを初めとする世界各国に広がりを見せています。

世界保健機関（WHO）は、新型インフルエンザの警戒レベルを4月28日にフェーズ3からフェーズ4（ヒト-ヒト感染が増加していることの証拠がある）に引き上げ、続いて4月30日にはフェーズ5（かなりの数のヒト-ヒト感染があることの証拠がある）に引き上げているところです。

また、5月19日現在、厚生労働省では、メキシコ、米国（本土）、カナダを蔓延国として規定しています。

国内では、5月16日に神戸市内において感染者が発生しており、その後も、大阪府、兵庫県内で、感染者の報告が相次いでいます。（5月19日現在 193人）

国においては、同日に、新型インフルエンザ対策本部専門家諮問委員会が『「基本的対処方針」の実施について』の提言を行い、国内における感染の状況が第1段階（海外発生期）から第2段階（国内発生早期）となったと報告しています。

2 健康福祉局のこれまでの取り組み

本市では、WHOがフェーズ4に引き上げたことを受けて、4月28日に市長を本部長とする横浜市新型インフルエンザ対策本部を設置しました。

健康福祉局では、4月24日に厚生労働省より海外での新型インフルエンザ発生が通知されて以来、対応を行っており、現在は、市対策本部の中で、医療提供体制の整備を中心にした取組を行っています。

月 日	取 り 組 み
4/25（土）～	発熱外来設置予定の医療機関や医師会等への情報提供、周知
4/26（日）	市電話相談窓口の設置（27日（月）～区電話相談窓口設置）
4/27（月）	市新型インフルエンザ対策推進会議開催
4/28（火）	発熱相談センターの設置
4/30（木）、5/1（金）	疑似症例 第1例発生、感染症指定医療機関に入院
5/2（土）～	新型インフルエンザ発生国への渡航者、感染者との接触の可能性のある市民の健康観察の実施
5/3（日）	疑似症例 第2例発生、感染症指定医療機関に入院
5/8（金）	発熱相談センターの24時間対応開始
5/16（土）	市内9か所の医療機関に発熱外来を設置
5/17（日）	発熱相談センターの電話回線を増設（5回線→10回線）

3 発熱相談センターへの相談件数及び主な相談内容

(1) 相談件数

件数 7,016 件 (5月19日現在)

※資料1「発熱相談センターへの相談件数」を参照

(2) 主な相談内容

発熱相談センター開設当初は、新型インフルエンザに関する一般的な相談が多かったが、現在は、発熱者等からの健康相談が増加している傾向にあります。

【主な相談内容】

- ・ 発熱、せき、のどの痛みなどについて
- ・ 検査方法について
- ・ 患者の判断基準について
- ・ 帰国者の注意点について
- ・ 今後の海外渡航の注意点について
- ・ メキシコ産食品、加工品の安全性について
- ・ 薬品、マスクの入手方法について
- ・ 疑い例の患者の発生について
- ・ 国内発生時の本市の対策について

4 発熱外来受診者数

受診者数 68 名

※資料2「発熱外来受診者数」を参照

5 今後の取り組み

(1) 発熱相談センターの体制整備

発熱相談センターについては、これまでも体制の強化を行ってきましたが、対応の長期化を踏まえ、持続可能な体制の構築を行っていきます。

(2) 発熱外来の増設

感染の拡大を想定した、発熱外来の設置数の増について検討・調整を行っていきます。

(3) 検体の輸送体制の整備

検査を必要とする検体数が増えることが考えられるため、衛生研究所への検体搬送体制の整備を行っていきます。

(4) 感染拡大防止予防策の周知

ア 所管施設や関係団体等への情報提供と予防活動の実施依頼、周知ポスター掲示などを行っていきます。

イ 啓発チラシの全戸配付を行っていきます。

(5) 首都圏、市内で発生した場合の対応の検討

所管施設における休業等の対応については、患者の発生状況や、国・他都市の対応などを踏まえ、柔軟に対応します。

発熱相談センターへの相談件数

月 日	日 計	累 計
4月26日(日)	28件	28件
4月27日(月)	18件	46件
4月28日(火)	87件	133件
4月29日(水)	25件	158件
4月30日(木)	226件	384件
5月1日(金)	657件	1,041件
5月2日(土)	127件	1,168件
5月3日(日)	101件	1,269件
5月4日(月)	91件	1,360件
5月5日(火)	86件	1,446件
5月6日(水)	105件	1,551件
5月7日(木)	231件	1,782件
5月8日(金)	180件	1,962件
5月9日(土)	279件	2,241件
5月10日(日)	163件	2,404件
5月11日(月)	259件	2,663件
5月12日(火)	183件	2,846件
5月13日(水)	184件	3,030件
5月14日(木)	121件	3,151件
5月15日(金)	93件	3,244件
5月16日(土)	215件	3,459件
5月17日(日)	723件	4,182件
5月18日(月)	1,570件	5,752件
5月19日(火)	1,264件	7,016件
合 計	7,016件	

発熱外来受診者数

	5/16(土)	5/17(日)	5/18(月)	5/19(火)	計
済生会東部病院	0	2	4	4	10
横浜労災病院	3	0	4	1	8
昭和大学北部病院	4	0	6	5	15
聖マリアンナ西部病院	0	0	2	2	4
横浜医療センター	1	1	9	1	12
済生会南部病院	2	2	5	3	12
市大附属病院	0	0	0	0	0
市大センター病院	0	0	3	1	4
みなと赤十字病院	0	1	0	2	3
計	10	6	33	19	68

横浜市新型インフルエンザ対策本部会議の開催状況

1 対策本部会議

(1) 第1回対策本部会議

- ア 開催日時
平成21年4月28日(火) 12時00分～12時30分
- イ 出席者
市本部長、市副本部長、技監及び各部部長
- ウ 議題
 - ・現在までの発生状況及び本市の取組状況
 - ・今後の対策の基本方針について

(2) 第2回対策本部会議

- ア 開催日時
平成21年5月1日(金) 10時00分～10時40分
- イ 出席者
市本部長、市副本部長、技監、各部部長、青葉区本部長及び開港150周年・創造都市事業本部長
- ウ 議題
 - ・4月30日に市内で発生した疑い例の状況報告
 - ・今後の対応について

(3) 第3回対策本部会議

- ア 開催日時
平成21年5月11日(月) 16時00分～16時50分
- イ 出席者
市本部長、市副本部長、技監、各部部長、青葉区本部長及び開港150周年・創造都市事業本部長
- ウ 議題
 - ・現在までの状況報告(成田空港検疫所において新型インフルエンザと確認された事案概要、同一飛行機に同乗していた市内在住の方への対応状況)
 - ・今後の対応について

2 対策本部情報連絡会議

(1) 第1回市対策本部情報連絡会議

- ア 開催日時
平成21年5月7日(木) 13時00分～14時10分
- イ 出席者
市副本部長、技監、各部部長、青葉区本部長、開港150周年・創造都市事業本部長、及び各区本部庶務班長
- ウ 議題
 - ・横浜市中で発生した疑い例の概要について
 - ・今後の課題整理について

(2) 第2回市対策本部情報連絡会議

- ア 開催日時
平成21年5月18日(月) 12時00分～13時10分
- イ 出席者
市副本部長、技監、各部部長、青葉区本部長、南区本部長、磯子区本部長、及び開港150周年・創造都市事業本部長
- ウ 議題
 - ・新型インフルエンザの国内発生状況等について
 - ・国の対処方針に基づく横浜市の取るべき措置内容(原案)